



SDGs School

produced by Think the Earth



⑤



出版 福音館書店
作・絵 ささき まき

今回は、メンバーお気に入りの絵本を紹介しします。絵本には、本当にたくさんの学びが詰まっていますね。

○さくらこ
・高校2年生

私は「やっぱりおかみ」という絵本を挙げます。

この絵本は、ひとりぼっちのおかみが主



人公です。おかみは街のうさぎたちが仲間と一緒に過ごしているのを見て「けつ」とはき捨てます。しかし「なかがまがほしいな。でもうさぎなんかごめんだ。」とつぶやき、悩み続けます。

私はこれを読んで、中島敦の小説「山月記」の李徴の孤独を連想しました。作中の「臆病な自尊心と尊大な羞恥心」は、まるで自分に放たれた言葉のように感じました。「山月記」は読むほどに、私の悩みがきれいに言語化されていて、深く共感したのと同時に、若者はだれでも通る道だと、それで私の気持ちも片づけられてしまったようにも感じました。

しかし、「やっぱりおかみ」は、異種とは一緒に居たくないとい



○のは
・高校2年生

いう迷いと不安が、挿絵とセリフで素直に、濃く描かれています。この絵本は、私の迷いに「変わらなくていい」ということをまっすぐ伝えてくれて、自分らしくいることに、自信を与えてくれました。絵本はこどもに届けるために、はっきりと言葉が示されています。それは、ふと心が疲れたり、自分の気持ちに不安を抱いた時に、もう一度立ち返るべき原点なのではないでしょうか。

私はみなさんに、ヨシタケシンスケさん作の「それしかないわけないでしょう」という本をお勧めします。主人公はある日、お兄ち





出版社 白泉社
作・絵 ヨシタケ シンスケ

「やんから「未来の世界は大変なことばかりなんだって」と聞かされます。驚いておばあちゃんに相談すると、おばあちゃんは「それしかないわけじゃないでしょう」と、未来にはたくさん人の選択肢があることを教えてくれます。私には、この本の中で一番好きなシーンがあります。「すき」でも「きらい」でもない、「すらい」があってもいいわよね」という部分です。私たちは日々の生活の中で、嫌いなことや、自分とはあまり合わない

ような人と関わらなければいけないこともあります。そんな時、すぐに「嫌い」と突き放すのではなく、この本のように「すらい」という感情くらいにとどめてみて、少しでもお互いが合うところを探してみたり、逆に自分とは違う新しい考えを知ることが出来るチャンス！と捉えてみたりするのはどうでしょうか。「好き」と「嫌い」の二択のように、今この世界にあるレッテルや言葉や感情、考えだけで答えを導き出すのではなく、常に「それしかないわけじゃないでしょう」という心持ちを大事にしてみませんか。そして、「すらい」のような新しい何かが生まれれば、この世の中の対立や戦争をわずかも減らせる可能性があるかもしれません。



〇あおい
・高校2年生

私は「おいしいおと」という本をみなさんに読んでいただきたく紹介します。昨今の世の中では「こしよく」という言葉をよく耳にするようになりました。孤食、固食、凍食、など色々な意味を含んだ言葉です。スマホをしながら一人で、固形食で済ませてしまふ、そんな絵面をよく見かけるようになりました。だからこそ今、みなさんにこの絵

れません。私たちのアイデアの可能性は無限大にあります。これから自分たちがどんな「新しい選択肢」を生み出せるかなと考えるだけでなんだかワクワクしてきます。



しやうばんしゃ 出版 社
ふくしん 福音館書店
さく 作 三宮 麻由子
え 絵 ふくしま あきえ

本を^{ほん}読んで^よいた^{いた}だ^だきたい^{たい}です。
思^{おも}わ^なず^な給^{たま}本^{ほん}の中^{なか}の^の飯^{はん}を^を食^たべ^たた
く^くな^なつ^つて^てし^しま^まう^うな^な、そ^そん^んな^なた
く^くさ^さん^んの^の咀嚼^{そしやく}音^{おと}で^で溢^{あふ}れ^れて^てい^いま^ます。
イ^いラ^らス^すト^との^のタ^たッ^っチ^ちも^も淡^あく^く、優^{やさ}しい
色^{いろ}合^あい^いで^で描^えか^かれ^れて^てお^おり^り、ほ^ほか^かほ^ほか
と^と温^{あたた}かい^{かい}食^{しょく}事^じの^の温^{ぬく}度^ど感^{かん}が^がそ^その^のま^まま
伝^{つた}わ^わつ^つて^てき^きま^ます。

一^{ひと}人^りで^で固^こ形^{けい}の^の食^{しょく}べ^べ物^{ぶつ}で^で済^すま^ませ^せる、
と^とい^いう^う日^ひも^もあ^ある^ると^と思^{おも}い^いま^ます。で^でも
誰^{たれ}か^かと^と賑^{にぎ}やか^かに^に暖^{あたた}かな^な食^{しょく}卓^{たく}を^を囲^{かこ}む
こ^この^の嬉^{うれ}し^しさ^さを^をど^どう^うか^か忘^{わす}れ^れない^いで

い^いた^ただ^だきたい^{たい}の^のです。様^{さま}々^々な^な料^{りょう}理^り
や^や食^{しょく}材^{ざい}が^が織^いり^りな^なす^す幸^{さい}せ^せな^な咀嚼^{そしやく}音^{おと}た
ち^ちが^がペ^ぺー^ージ^じを^を捲^{めく}る^るこ^こに^に待^{まち}つ^つて^てい^いま^ます。
読^よみ^み終^はえ^えた^たと^とき^き、き^きつ^つと^とあ^あ
な^なた^たは^は温^{あたた}かい^{かい}ご^ご飯^{はん}を^をひ^ひと^とく^くち^ち一^{ひと}口^{くち}
の^の咀嚼^{そしやく}を^を楽^{たの}し^しみ^みな^なが^がら^ら大^{たい}切^{せつ}な^な人^{ひと}と
食^{しょく}べ^べた^たい^いと^と思^{おも}う^うで^でし^しょう。是^ぜ非^ひこ
一^{ひと}読^よみ^みく^くだ^ださい。



ほ^ほく^くが^がラ^らー^ーメ^めン^んを^を食^たべ^てい^いる^ると
き^き、と^とな^なり^りの^の家^{いえ}で^では^はネ^ねコ^こが^があ^あく^くび
を^をし^し、友^{とも}だ^だち^ちは^はテ^てレ^れビ^びの^のチ^ちャ^ゃン^んネ^ね
ル^るを^を変^かえ^え、お^おじ^じい^いち^ちゃ^ゃん^んは^はお^おふ^ふる
に^に入^{はい}つ^つて^てい^いる。そ^そん^んな^な日^に常^{じょう}の^のな^なか
に^にも^も、世^せ界^{かい}で^では^はい^いろ^ろんな^なこ^こが^が同^{どう}
時^{とき}に^に起^おき^きて^てい^いる。
こ^この^の絵^え本^{ほん}は^は、日^に常^{じょう}の^の何^{なん}気^きな^ない
「^い当^{あた}り^り前^{ぜん}」^の響^{ひび}く^くし^しか^から^ら想^{さう}像^{ざう}を^を
広^{ひろ}げ^え、遠^{とほ}い^い国^{こく}で^で働^{はたら}く^く子^こや^や、空^{そら}腹^{はら}で



しやうばんしゃ 出版 社
ふくしん 福音館書店
さく 作 三宮 麻由子
え 絵 ふくしま あきえ

苦^{くる}し^しむ^む子^こど^ども^もた^たち^ちの^の存^{そん}在^{ざい}に^に目^めを^を向^む
け^けさ^させ^せて^てく^くれ^れま^ます。

日^に本^{ぽん}で^では^はラ^らー^ーメ^めン^んを^を当^あたり^り前^{ぜん}に^に
食^たべ^べら^られる^る幸^{さい}せ^せと^と、そ^それ^れが^が当^あたり^り
前^{ぜん}で^でない^い世^せ界^{かい}の^の現^{げん}実^{じつ}を^を考^{かん}え^える^るこ^こ
他^た者^たを^を思^{おも}い^いや^やり^り、自^じ分^{ぶん}に^にで^でき^きる^るこ^こ
と^とを^を考^{かん}え^える^るき^きつ^つか^かけ^けと^とな^なる^る絵^え本^{ほん}で^で
す。持^も続^{ぞく}可^か能^{のう}な^な社^{しゃ}会^{かい}の^の実^{じつ}現^{げん}に^に向^む
け^けて^て、身^み近^{ぢか}な^な当^{あた}り^り前^{ぜん}に^に感^{かん}謝^{しゃ}す^する^る心^{こころ}
や^や、自^じ分^{ぶん}に^にで^でき^きる^る行^{こう}動^{どう}の^の選^{せん}択^{たく}を^を問^と
い^い直^{なお}す^すこ^こも^も大^{たい}切^{せつ}だ^だと^と思^{おも}い^い、紹^{しょう}介^{かい}
さ^させ^せて^てい^いた^ただ^だき^きま^まし^した。

(山^{さん}藤^{とう})



協力：一般社団法人シンク・ジ・アース／
新渡戸文化高等学校教諭 山藤旅間